

式 辞

ただいま、入学を許可しました**86**名の新入生の皆さんを迎え、本日ここに、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、神奈川県立横浜翠嵐高等学校定時制課程 第53回入学式を迎えることができますことに、心からお礼申し上げます。

そして、今日までお子様をさまざまな面で支えてこられた保護者の皆様、お子様のご入学おめでとうございます。私たち職員一同、皆様の期待に答えられるよう全力を尽くす所存でございます。

さて、新入生の皆さん、入学おめでとう。先ほど名前を呼ばれている時、一人ひとりの顔を見ていましたが、その表情は期待と不安が混じり合っているようでした。そんな皆さんが、これから本校での学校生活を送るにあたって、私から2つのことをお話しします。

一つ目は、「自分の意思で入学した」という覚悟を決めてください。夜間定時制課程である本校は、夕方から授業が始まります。この時間帯に学校に来ること自体、努力しないとできないことです。時には生活が乱れ、疲れがたまってしまうこと、また仕事やアルバイトをしている人は、仕事がうまくいかず悩むことがあります、つい学校を休みたくなることもあるでしょう。そんな時こそ、「自分で決めたこ

とだから」と歯を食いしばって自分への約束を守る強さを身につけてください。いつか何故そんなに頑張れたのですかと人から聞かれたら、「自分で決めたことですから」とさらりと言える、そんな人になってほしいと思います。

二つ目は、自分を大切にする心とお互いを認め合う心を大切にしてください。今、皆さんを取り巻く社会環境は決して「良い」とは言えません。学校生活を送る中で、いろいろつまづくこともあるでしょう。そんな時に絶対に「やけ」にならないでください。「七転八起」という言葉があるように、何回つまずいてもそれより多く起き上がればいいのです。「やけ」になったら起き上がれません。どうか自分を大切にしてください。それは、人間は必ず誰かに支えられて生きているものだからです。支えてくれている人のためにも、どうか自分を大切にしてください。

また、定時制は、様々な生徒が学んでいます。年齢も社会的な立場も異なる生徒たちが、お互いを応援しながら学習しています。だからこそ、クラスの一人ひとりが何故、この時間に勉強しているのかを理解してあげてください。「お互いを認め合う心」とは、そんな気遣いができる心だということです。そういう心を持った人は、逆に周りから支えられる人になるということです。

新入生の皆さん、今私がお話した二つのことをぜひ心がけて、今心の中に持っている目標の達成や夢の実現に向けて「学びたい」また「学び直したい」という気持ちを大切に、高校生活を送ってください。それでも困ったことがあれば、私たち職員に何でも相談してください。私たちは皆さんを全力で支えることを約束します。

最後になりますが、保護者の皆様、高校は立派な社会人になるための知識と心とからだを鍛える場でもあります。それには学校だけでなく、ご家庭と地域が協力して支える必要があります。どうぞよろしく願いいたします。

そして、新入生の皆さん、それぞれの夢や目標に向かって、自分を磨き、鍛え、新しい自分を創造していくことができるよう、皆さんの努力と活躍に期待して式辞といたします。

平成28年4月6日 横浜翠嵐高等学校長 佐藤 到